

を作成、使用しています。

これ以外にも、一日の出来事、考え意見等を自由に書かせて、教師もコメントをつけてやりとりする「生徒と教師を結ぶ日記帳」を通して、生徒と教師の信頼関係を強めています。

これらのこととは目新しいものや特別

なものはありません。要は、子どもたちを見つめる、理解する、そして育てるという地道な指導を教員全部が理解し、実践していくことが大事であると考えています。そして、こ

れらの実践が、本校生のボランティア活動や夏休みの選択課題方式学習といった実をあげてきたのだと思います。

・ 生徒に芽ばえた愛する心

あやつり人形などを作成し、公演をしてきました。製作には数か月から、長い時は半年もかけています。

地域の保育所、児童館、猪苗代養護学校を訪問し、その回数は七十回にも及んでいます。今では子どもたちが、

- 「若女のお姉ちゃんたち」と、心待ちにしてくれるようになりました。苦心しながら製作したものを持ち、劇を演じた時、子どもたちは食い入るよくなまざしで見つめ、歓声をあげて喜び、

時には舞台まで身を乗り出して興味を示してくれます。この度の養護学校訪

・ 認められた地道な努力 ——クラブ員を動かす四つの精神「創造・勤労・愛情・奉仕」

問では、生徒の代表が家庭クラブ員に、手作りの花束をプレゼントしてくれました。不自由な身体に渾身の力をこめ、自分で一生懸命歩き、近づいてくる生徒の姿にクラブ員は生きることの厳しさと美しさを見、感激で胸を熱くしました。そして、この次はもっと喜こんでもらえる、よいものを作りあげようと決意を新たにしています。

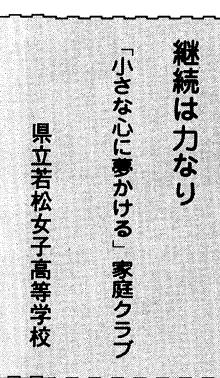


表1 実態に応じた生徒の行動観察項目

授業に意欲をなくし、集中力がなくなってきた。	休憩時や放課後、1人でいることが多い。	日誌、ノートなどに不安、悩みなどを訴える。	保健室に入りすることが多くなってきた。	用もないのによく職員室前をうろつく。	いつもおどおどしている。	理由もなく欠席・遅刻・早退が増えしてきた。	理由のはつきりしない打撲や傷あとがある。	生気なく、気持ちが沈んでいる。	教師をさけるようになってきた。	グループから急に離れたり、交友関係が変化した。	常に友だちの言いなりになっている。	衣服のよがれが見られるようになる。	新しい特物や教科書・ノートにいた
------------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	--------------------	--------------	-----------------------	----------------------	-----------------	-----------------	-------------------------	-------------------	-------------------	------------------

昭和二十七年、本校に学校家庭クラブが組織されました。最初は生徒会の食物・被服・茶道部員で構成され、同年、会津地区高等学校家庭クラブ連盟に、翌二十八年に福島県高等学校家庭クラブ連盟に加盟しました。以来全校あげて、いろいろな特色ある活動を続けています。

昭和五十四年には保育の授業がきっかけで、子どもたちのことを、もっと知りたい、手作りの人形劇や、紙芝居を見せてやりたいと考えた生徒たちによって児童文化研究班が生まれました。そして今日まで、数多くの紙芝居、指人形、ペーパーサート、かぶり人形、



保育所をたずねて…若松女子高等学校の生徒たち

でした。

今年は今まで、続けてきた実践活動をまとめ、学校家庭クラブの県大会で発表し、県代表として東北大会に出場しました。長い間、先輩から受け継ぎ、地道に研究活動を続けた実績が認められ、学校家庭クラブ活動（共通題）の部門で東北代表に選ばれ全国大会に出場しました。研究班員の自信に満ちた生き生きした訪問の一コマを、スライド、紙芝居、手遊びのゲーム、「狼と七匹の子やぎ」のかぶり人形などを使って再現しました。指人形、ペーパーサート、影絵なども紹介しました。大きく動きのある斬新な発表に、広い会場を埋めた参会者に「小さな心に夢かけ」の題の主旨が理解され、最優秀賞である文部大臣賞を受賞することができま